

祝 2017 新成人 わたしの夢



揮毫 伊藤茂男氏
 鎌田地区
 平成 29 年 1 月 1 日 現在
 世帯数 8,750 戸
 男 9,873 人
 女 9,505 人
 発行者 鎌田地区公民館
 公民館編集委員会



中田聖志郎
井川城上区町会

私は昨年 7 月に二十歳となり、身が引き締まる思いです。今私は松本大学で社会福祉士の資格を取る勉強をしています。

福祉職には、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉の三種類があり



小川原海斗
高宮町会

現在東京で一人暮らしをしながら、武蔵野美術大学デザイン情報学科でグラフィックデザインを学んでいます。実家を離れ、自分の意外な長所、短所にも多く気付かされました。2017 年はさらによい

年になるように抱負を述べたいと思います。私は将来「一瞬でも人を幸せにできるデザインを作り、これからのデザイン業界で活躍できる人になりたい」と思っています。大学で取り組んでいく課題や制作に対しては、従来の傾向や流行にとらわれず、自分スタイルの提案ができるような学生になりたいと考えています。それには趣味や思想が

影響されるので、様々なところに足を運んでいろうかなものを見聞きし吸収して、感性を研ぎ澄ませていきたいと思えます。将来は自分の学んだことを活かし社会や地域に貢献していきたいと思えます。今まで自分を育ててくれた両親や故郷に感謝しながら日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

ますが、私が今一番興味があるのは児童福祉です。メディアなどでもよく聞く、小・中学生のいじめ問題や、不登校の増加等、子どもを取り巻く問題が年々増え続けています。私はそんな子どもたちに寄り添える仕事に就きたいと考えています。まだまだ勉強途中で、どのような社会貢献ができる仕事があるかわかりませんが、社会福祉

士の資格を活かしたいと考えています。私はこれまで将来について考えたことがなかったが、大学での勉強を通じてすこしづつわかつてきた気がします。昨年の 11 月の初めから毎週新村の障害者福祉施設でボランティア活動を行っていました。コミュニケーションをとるのが一番大変でしたが、その活動を通してやりがいを感じ、将来の一つの目標につながることを確信しました。これからも、福祉の勉強を精一杯し、国家資格取得を目指して頑張ります。

弥生町はここ数年、子どもが喜んでくれる企画を考えて実行してきましたが、もっと大人に公民館に来て欲しいという思いから公民館居酒屋をやるうと考えていました。そんな時、高齢者のお茶飲み会で「だんなはお酒が飲めないから一人で飲んでもつまらないわ」という話が出たのです。そこで、元祖公民館居酒屋をやっている笹賀地区二美町の女性館長にお願いし、早速町会長、民生委員と共に公民館居酒屋「よつてけや」にお邪魔しました。運営方法をお聞きする中、楽しく飲ませていただき、役員一同「まあとりあえずやってみるか」と力をもらいました。やると決めたら大きな力を発揮する役員たちです。見学してからわずか 2 週間程度でネオン看板に提灯まで用意して「居酒屋やよい」開店の運びとなりました。会費は 1 人 500 円、つまみは料理が得意な庶務長(うちの主人)が毎回趣向を



「居酒屋やよい」は毎月第 2 土曜日 18 時 30 分から開店しています。この記事を読んで興味を持たれた方は町会を越えてぜひご来店お待ちしております。

街かどの話題 137
居酒屋やよい 開店です!
 弥生町町会
 公民館長 小林 嘉美

こちらして準備してくれま。ちなみに今までのメインメニューはもつ煮、鳥ハム、お好み焼きなどです。飲み物は各自持参にしました。6 月に開店して 7 回参加者の変動はありますが、初回から欠かさず参加してくれる常連さんもいて、ますます成功かな? という印象です。若いママさんは、子ども連れで OK、お酒を飲めない人は、夕飯を食べにくる感じで OK。とにかく公民館に来て下さいという願いです。

東日本大震災から5年 今なお避難が続く被災地 福島県楡葉町・富岡町を再訪

昨年11月19日(土)20日、鎌田地区町会連合会と町内公民館長連合会は、平成26年に訪れた震災と福島第一原子力発電所事故の被災地楡葉町・富岡町を再訪した。

災害の悲惨さを目で確認するとともに、今なお避難生活が続いている両町の復興に向けた住民活動や自治活動の取り組みについて学び、今後の地域づくりや防災、減災の一助にしようとするものである。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野さん、ならばふるさと案内人 高野さん、富岡町3・11を語る会 仲山さんから、被災場所を案内していただきながら、今日までの経過、課題などについて話を聞いた。

楡葉町



語り部の高野さん

放射線

物質の除染が進み、平成27年9月に全町の避難

印象に残った。

富岡町



被災家屋の見学

な時間を要すると思われる。

原子力発電所事故発生後の3月からは、帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域に編成され今日に至っている。本年4月に帰還困難区域以外は避難指示が解除される予定とのこと。

再訪して感じたこと

3・11から今年で6年となる。避難生活者は地元近隣だけでなく全国に広がっている。

それぞれが帰還するには、除染はもとより役場機能の復活、病院・学校・商店街の整備など生活環境の復興が急がれる。

一番は被災者の生活基盤を考え、一方的な帰還でなく、それぞれの気持ちに沿った支援をすべきだと思った。

3・11を風化させず、みなさまの大きな応援をお願いしたい。

(松川 靖彦)

初のグランドゴルフ大会開催!

11月12日、鎌田地区公民館主催の鎌田地区グランドゴルフ大会が信州スカイパークで初めて行われた。当日は11月の初旬とは思えない暖かさで、雲一つない晴天の中、小学生から大人まで約40人が楽しんだ。

参加者のほとんどがグランドゴルフ初体験でしたが、「いちい会」の高橋渡会長(南原町会)はじめ、会員の皆さんからルールや打ち方などの説明を受け、合計16ホールを回った。

小学生の参加者も大人に交じって本気の勝負が繰り広げられていた。(竹内 賢)



グランドゴルフの普及に向けて

松本市の熟年体育大学を卒業した4年前の春、信州スカイパークでマレットゴルフをしていた時に南管理棟の西側の芝コースの中で数人の人達が楽しそうにクラブでボールを打っていたのがグランドゴルフとの出会いでした。2年後県の協会にも入り、4月の大会では上位入賞、わかやま国体の長野県代表に選ばれ、9月19日20日の国体に参加しました。団体で長野県は準優勝になりましたが、日本協会の登録人数は47都道府県で北海道に次いで下から2番目の少なさです。グランドゴルフを知って欲しい、協会会員を増やしたいと思い、昨年4月常連の人達と毎月第2第4日曜日にスカイパークで「明るく楽しく」をモットーに無料で大会を開催、また、仲公民館長の紹介で鎌田小学校のクラブ活動でもグランドゴルフを楽しんでもらいました。昨年は鎌田地区公民館主催でも初めての大会を開催することができました。今後もグランドゴルフの普及に取り組んでいきたいと思ひます。いちい会会長 高橋 渡